

船舶事故調査報告書

令和3年4月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	転覆
発生日時	令和2年10月1日 09時16分ごろ
発生場所	沖縄県糸満市糸満漁港西北西方沖 ムーキ灯標から真方位165°300m付近 (概位 北緯26°08.5 東経127°37.3)
事故の概要	作業船第三幸栄丸は、航行中に機関室が浸水し、船体のバランスを失って転覆した。
事故調査の経過	令和2年10月28日、主管調査官（那覇事務所）を指名 原因関係者から意見聴取手続実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	作業船 第三幸栄丸、5トン未満（長さ11.95m）
船舶番号、船舶所有者等	296-17991 沖縄、有限会社竹建設
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	機関室に濡損
気象・海象	気象：天気 快晴、風向 北北東、風力 4、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期
事故の経過	<p>本船は、船長ほか5人が乗り組み、ムーキ灯標に向けて航行中、船長が、機関音が正常時とは違うことに気付き、操舵スタンド下の機関室を見て大量の浸水を認め、危険を感じて近くの陸岸に向けて避難しようとしたが、機関が停止して漂流中、転覆した。</p> <p>船長及び乗組員5人は、救命胴衣を着用しており、裏返った船底上にいるところを水難救済会所属船により救助され、本船は、起重機船により回収されて糸満漁港へ入港後、解体された。</p> <p>本船は、本事故前日の操船時及び本事故当日の出港前、船長が、船体及び機関を点検して異常はなく、機関室への浸水がないことを確認し、本事故当日、航行中に船底を接触するなどの船体の損傷もなかった。</p> <p>本船の喫水は、船首約0.4m、船尾約0.6mであった。</p>
分析	本船は、航行中、機関室に大量の海水が侵入したことから、船体のバランスを失って転覆したものと考えられるが、本船が本事故後に解体されたことから、海水が機関室に侵入した原因を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、本船が航行中、機関室に大量の海水が侵入し、船体のバランスを失って転覆したことにより発生したものと考えられる。